

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	入居者と家族の関わりを大切に、家族への声かけを増やす。	家族と交流を深める。	新聞発行の機会を増やす。生活暦を家族と一緒に見直す。(入居者の幸せを考える。)	6ヶ月
2	29	入居者が重度になり、外出などの希望(意思表示)を表すことが少なくなっている。	入居者と関わりを増やし、外の空気に触れる機会を多く持つ。	声かけを増やし、望みを尋ね、少しでも希望に添えるように努める。	12ヶ月
3	3	地域の方に、グループホームや認知症を正しく理解していただく。	地域に開かれたグループホームを目指す。	ボランティアの受け入れなど、気軽に立ち寄っていただけるように工夫する。	6ヶ月
4	36	意思表示の出来ない方が、望みがかなえられるように支援する。	利用者の目線で考える。	優しい言葉をかけ、利用者のまなざしから行動する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。